



平成29年3月期 第2四半期

(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

決算短信(連結)補足資料

FUJI フジ住宅株式会社

平成28年10月31日(月)

平成29年3月期 第2四半期業績

連結業績のポイント

- ◆ 売上高・営業利益・経常利益・純利益ともに前年同期比増収増益となりました。
- ◆ 業績(利益)の進捗率は概ね60%となりました。

目次

PAGE

1. 平成29年3月期 第2四半期連結累計期間
決算サマリー(平成28年4月1日～平成28年9月30日)
2. 通期連結売上高予想に対する進捗状況
3. 受注契約高の期初予想比
4. 事業セグメント別受注契約高(前年同期比較)
5. 連結売上高の期初予想比
6. 事業セグメント別売上高(前年同期比較)
7. 受注契約残高の推移
8. 平成29年3月期の配当について
9. トピックス
10. 業績予想の適切な利用に関する説明

幸せはこぶ住まいづくり



フジ住宅株式会社

平成29年3月期 第2四半期連結累計期間決算サマリー

(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

1. 当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高47,875百万円(前年同期比9.8%増)、営業利益3,286百万円(同34.7%増)、経常利益3,203百万円(同34.1%増)、四半期純利益2,186百万円(同39.2%増)となりました。

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前第2四半期実績	43,612	2,440	2,388	1,570
当第2四半期実績	47,875	3,286	3,203	2,186
前年同期比	9.8%増	34.7%増	34.1%増	39.2%増

2. 通期連結業績予想に対する当第2四半期実績進捗率

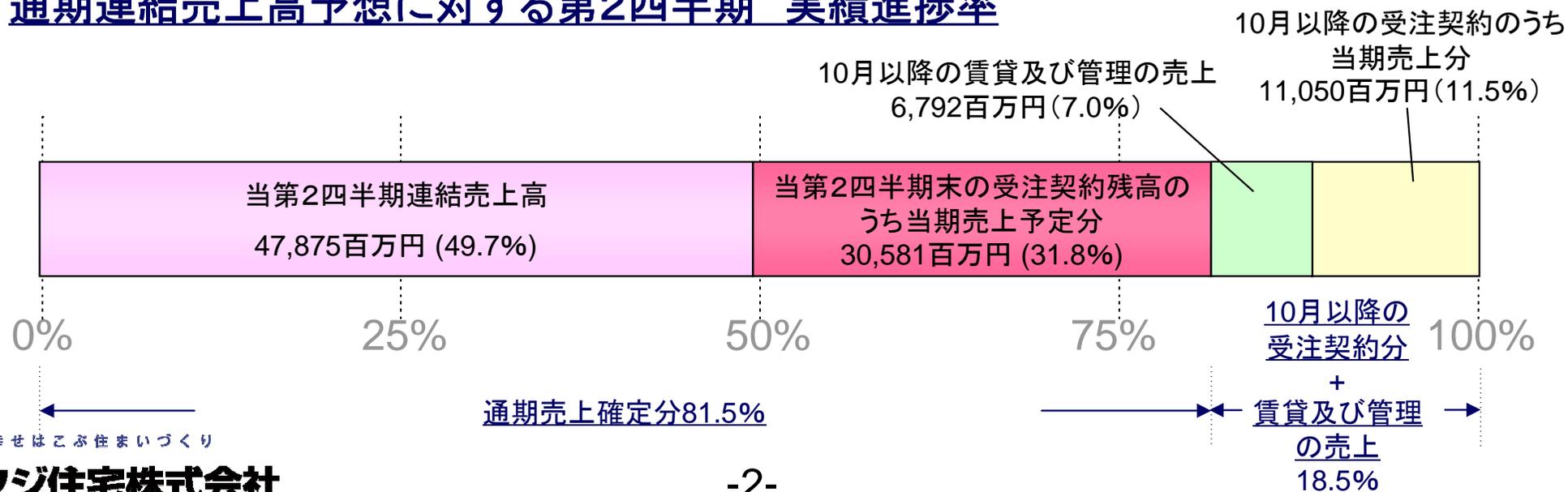
	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
期初通期予想	96,300	5,600	5,400	3,600
当第2四半期実績	47,875	3,286	3,203	2,186
期初通期予想に対する実績進捗率	49.7%	58.7%	59.3%	60.7%

通期連結売上高予想に対する進捗状況

当第2四半期の連結売上高実績(47,875百万円)に、当第2四半期末の受注契約残高(49,919百万円)のうち、当期売上予定の30,581百万円を加えた78,456百万円(通期目標の81.5%)が確実に当期の売上高に見込まれます。これに建売住宅・中古住宅の10月～2月の受注契約と、賃貸及び管理の10月～3月の売上が当期の売上高に加わります。

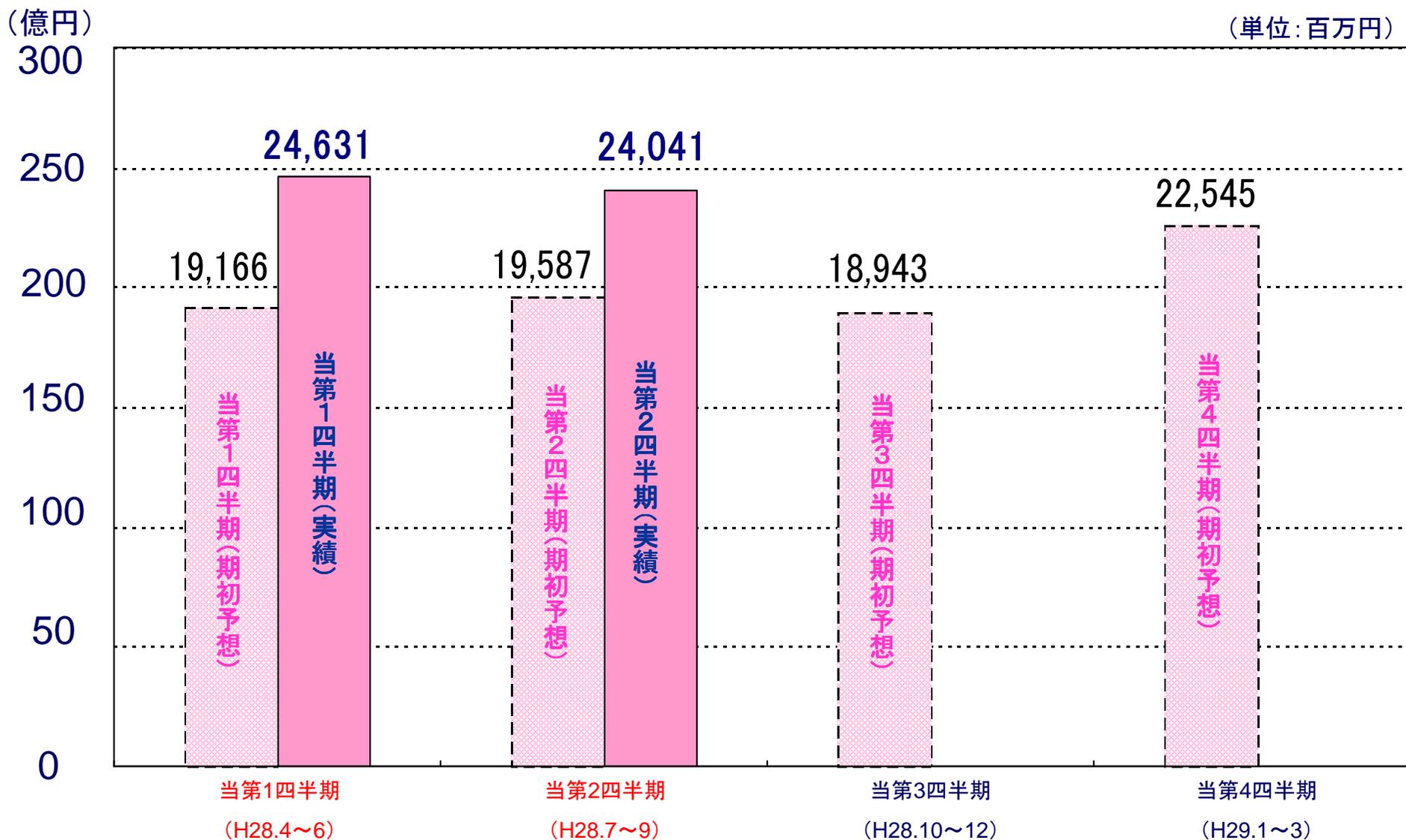
	平成29年3月期 第2四半期実績	平成29年3月期 通期予想	進捗率
連結売上高	47,875 百万円	96,300 百万円	49.7%

通期連結売上高予想に対する第2四半期 実績進捗率



受注契約高の期初予想比

当第2四半期(7~9月)の受注契約高は期初予想比22.7%増の24,041百万円となりました。



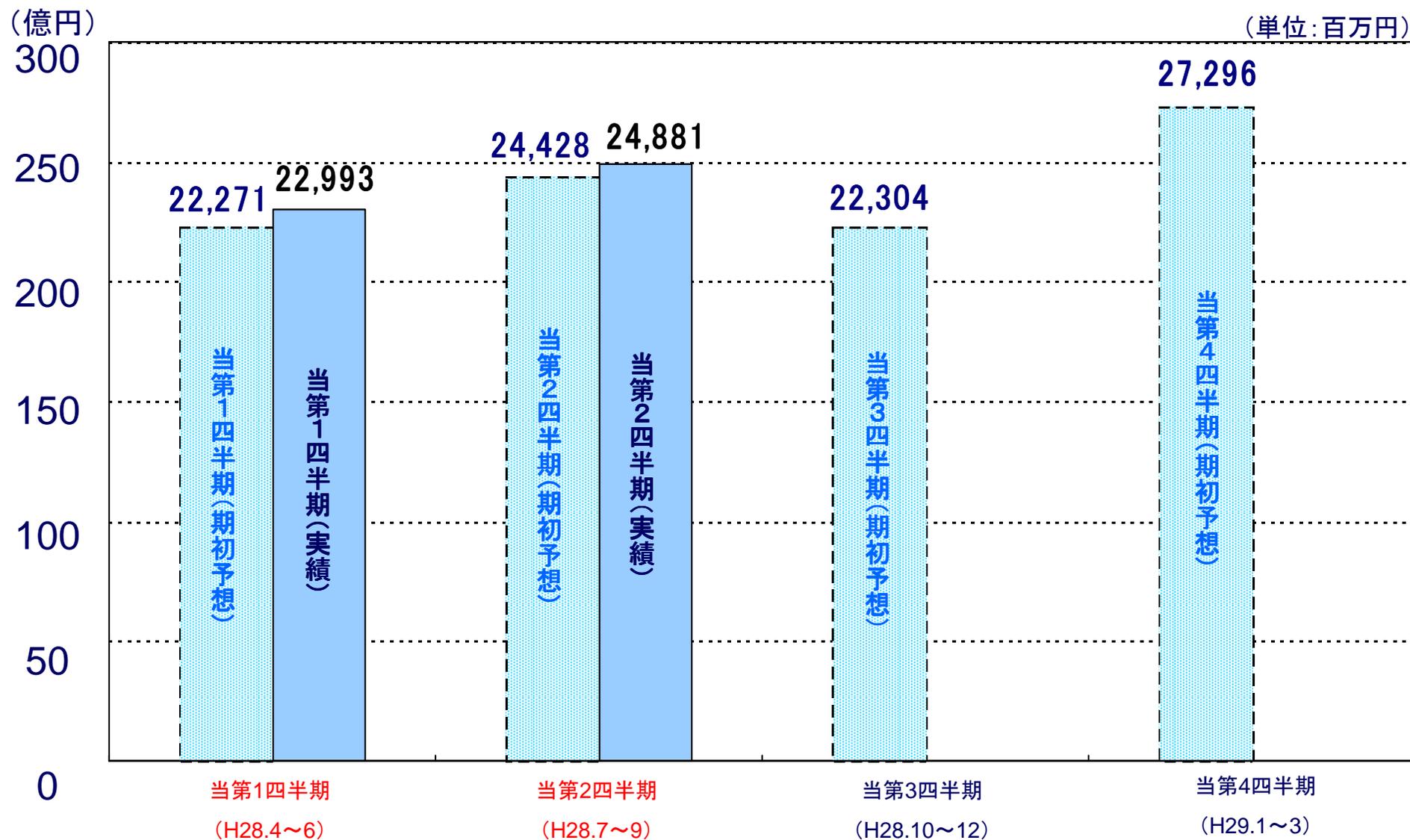
事業セグメント別受注契約高(前年同期比較)

(単位:百万円)

		前第2四半期 連結累計期間実績 (H27.4~H27.9)		当第2四半期 連結累計期間実績 (H28.4~H28.9)		前年同期比
分譲住宅	自由設計住宅	374戸	13,440	400戸	15,404	14.6 %増
	分譲マンション	77戸	2,226	168戸	5,414	143.1 %増
	土地販売	9,277㎡	1,560	10,077㎡	1,222	21.7 %減
	計	451戸 9,277㎡	17,227	568戸 10,077㎡	22,041	27.9 %増
住宅流通	中古住宅	792戸	13,660	713戸	13,624	0.3 %減
	建売住宅	65戸	1,810	62戸	1,689	6.7 %減
	土地販売等	- ㎡	0	915㎡	78	18,967.7 %増
	計	857戸 - ㎡	15,471	775戸 915㎡	15,392	0.5 %減
土地有効活用	賃貸住宅等建築請負	28件	2,870	22件	2,567	10.6 %減
	個人投資家向け 一棟売賃貸アパート	57棟	6,737	66棟	8,456	25.5 %増
	計	28件 57棟	9,607	22件 66棟	11,023	14.7 %増
注文住宅		13戸	311	8戸	216	30.7 %減
合計		1,321戸 9,277㎡ 28件 57棟	42,618	1,351戸 10,992㎡ 22件 66棟	48,672	14.2 %増

連結売上高の期初予想比

当第2四半期(7~9月)の連結売上高は期初予想比1.9%増の24,881百万円となりました。



事業セグメント別売上高(前年同期比較)

(単位:百万円)

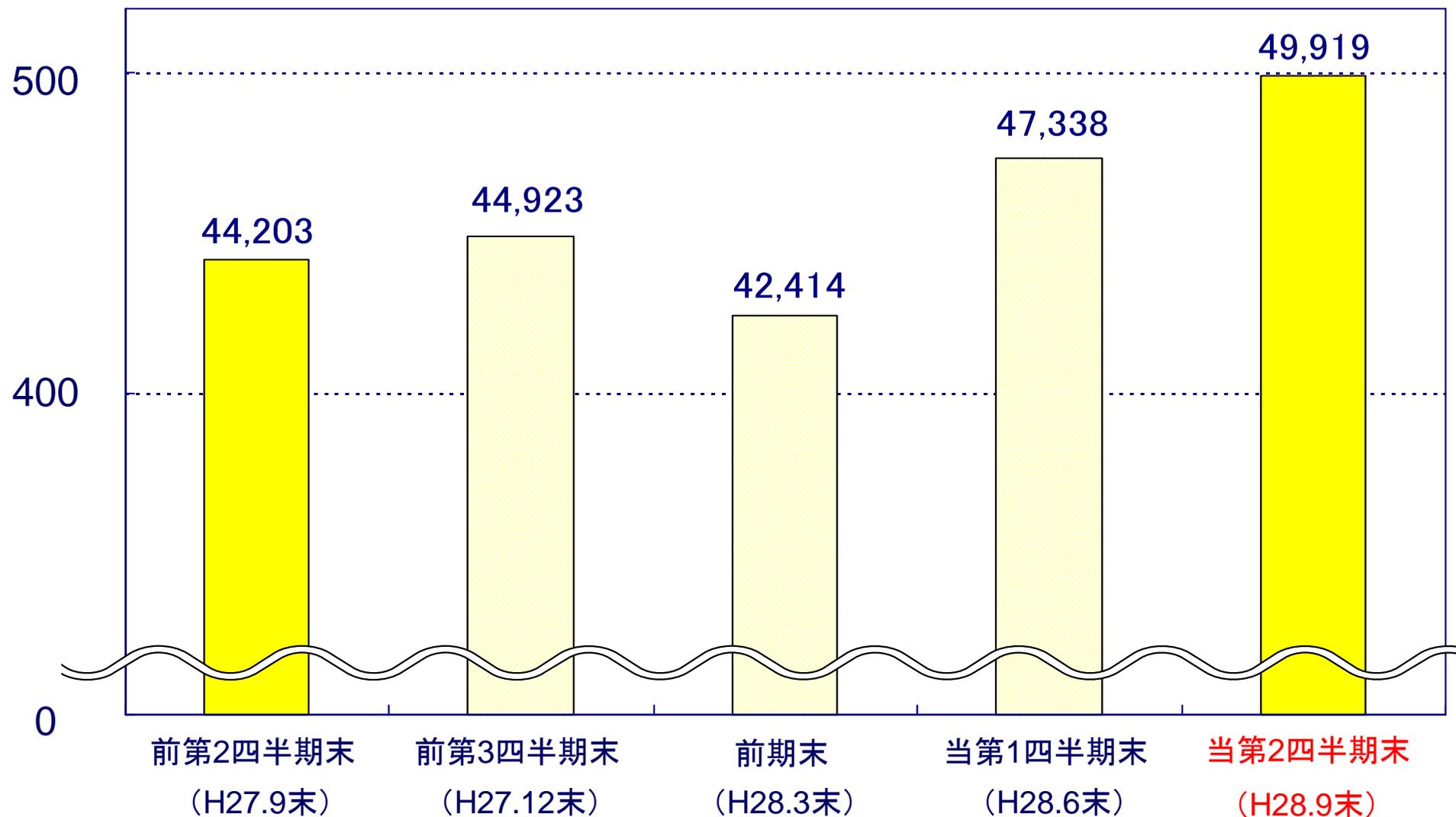
		前第2四半期 連結累計期間実績 (H27.4~H27.9)		当第2四半期 連結累計期間実績 (H28.4~H28.9)		前年同期比
分譲住宅	自由設計住宅	275戸	10,385	353戸	13,029	25.5 %増
	分譲マンション	167戸	4,787	72戸	1,884	60.6 %減
	土地販売	9,462㎡	1,565	10,077㎡	1,222	21.9 %減
	計	442戸 9,462㎡	16,738	425戸 10,077㎡	16,135	3.6 %減
住宅流通	中古住宅	761戸	12,955	716戸	13,449	3.8 %増
	建売住宅	71戸	1,938	67戸	1,824	5.9 %減
	土地販売等	- ㎡	0	915㎡	78	18,967.7 %増
	計	832戸 - ㎡	14,895	783戸 915㎡	15,352	3.1 %増
土地有効活用	賃貸住宅等建築請負	13件	1,918	26件	3,513	83.2 %増
	個人投資家向け 一棟売賃貸アパート	35棟	3,977	49棟	5,902	48.4 %増
	計	13件 35棟	5,895	26件 49棟	9,415	59.7 %増
賃貸及び管理		-	5,805	-	6,707	15.5 %増
注文住宅		12戸	277	11戸	263	4.8 %減
合計		1,286戸 9,462㎡ 13件 35棟	43,612	1,219戸 10,992㎡ 26件 49棟	47,875	9.8 %増

受注契約残高の推移

当第2四半期末の受注契約残高は前年同期末比12.9%増の49,919百万円となりました。

(億円)

(単位:百万円)



幸せはこぶ住まいづくり

平成29年3月期の配当について

中間配当金	1株あたり	13円
期末配当金(予想)	1株あたり	13円
年間配当金(予想)	1株あたり	26円

(ご参考)平成28年3月期

中間配当金(実績)	1株あたり	13円
期末配当金(実績)	1株あたり	13円
年間配当金(実績)	1株あたり	26円

トピックス：和歌山市への一戸建事業展開

このたび和歌山市内エリアにて、分譲一戸建住宅(自由設計)の販売を新たに事業展開することとなりました。

これまでに和歌山市内で3棟の分譲マンションを供給し、現在はJR和歌山駅前に過去最大規模の分譲マンションを販売しております。今後さらに積極的に和歌山市内での分譲住宅事業(分譲一戸建住宅・分譲マンション)を展開してまいります。



CFスマート友田町



CF和歌山駅前グランビーク
(販売中)



CFスマート和歌山城公園



CFスマート和歌山駅前EAST



幸せはこぶ住まいづくり



各位



平成28年8月30日

所在地 大阪府岸和田市土生町1丁目4番23号
 会社名 フジ住宅株式会社
 代表者名 代表取締役社長 宮 藤 宜 綱
 (コード番号 8860 東証第一部)
 問合せ先 取締役IR室長 石 本 賢 一
 (TEL 072-437-9010)

分譲一戸建住宅販売を和歌山市内で新たに事業展開いたします

当社は、平成28年8月30日開催の取締役会において、分譲一戸建住宅（自由設計）販売事業を和歌山市内において積極展開することについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 事業展開の主旨

当社は分譲住宅事業として、分譲一戸建住宅（自由設計）及び分譲マンションの販売事業を行っており、大阪市内、北摂・阪神間及び南大阪地域を中心に事業展開しております。和歌山市内においてはこれまでに3棟の分譲マンションを供給し、現在は、JR和歌山駅前に過去最大規模（総戸数256戸）の分譲マンションを販売しております。これらの分譲マンション販売による和歌山市内での当社の知名度及び信頼度の高まりに伴い、同地域での分譲一戸建住宅（自由設計）供給の機運が高まって参りました。

今後は、分譲事業で培った街並み開発のノウハウを活かし、和歌山市内においても分譲一戸建住宅（自由設計）の積極的な販売活動を展開し、年間200戸の供給を目標として同地域での事業を開始いたします。

また、和歌山市内における分譲一戸建住宅事業の積極的な事業展開により、和歌山県を含めた関西圏における当社のプレゼンスをさらに確固たるものにいたします。

2. 今後の見通し

本事業展開に関し、先行して年間200戸以上の一戸建分譲用地の取得を積極的に行なって参ります。来期以降の業績に影響を与えることとなりますので、平成29年3月期の業績予想の変更はございません。

以上

本資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、当社が現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいており、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、さまざまな要因の変化等によりこれらの見通しと異なる可能性があります。